

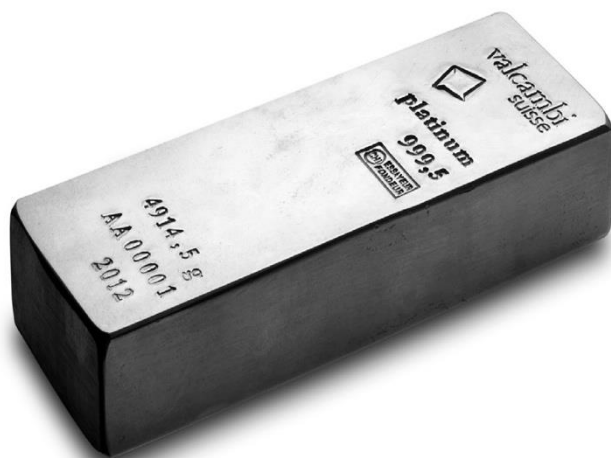
様々な現物プラチナ投資

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で品薄感の強まる現物プラチナ。インゴットやコインを実際に手にすることなく現物投資ができる簡単かつコスト効率が良い方法とは

新型コロナウイルス感染症の拡大で経済への悪影響が懸念される今、小型インゴットやコインの貴金属需要が非常に高くなっている。世界的に現物のサプライチェーンに支障が出てきており、一般投資家らは今、現物資産を求めているようだ。3月20日、カナダ造幣局がインゴットとコインを2週間製造中止にすると発表。続く3月23日にはスイス当局がウイルス拡散を防ぐため生活に必要な産業以外の活動停止を命じたのを受けて、スイスにある世界最大の3つの貴金属精製所が一時的に稼働を中止した。

現物プラチナの伸び

現物プラチナを保有したいが、供給が滞っている現状ではなかなか手に入らないかもしれない状況を避け、スポット価格より格段に高いプレミアを払いたくない投資家にはオンライン投資というチョイスがある。例えば、オンラインの現物投資口座を使えば、オンライン取引システムを通じて現物プラチナを購入、保管、売却することができる。取引は1グラム、米50ドル以下からでき、購入したプラチナには保険がかけられて警備の行き届いた保管庫に保管される。中にはさらに現物決済ができるシステムもある。



電子保存された其々の貴金属保有記録の管理には分散台帳、ブロックチェーンデータベーステクノロジーも使われている。正確かつ承認済みの貴金属保有記録は日々照査され、これによって投資家は、民間あるいは造幣局の安全な保管庫に保管されている貴金属を直接保有することができる。

さらに、現物に裏打ちされた上場投資信託 (ETFs) を通じて現物プラチナに投資することもできる。プラチナ ETF は、オンライン取引口座、あるいはオンラインブローカーを通じて、最低1株からでも購入、売却することができ、現在1株は米100ドル以下である。

プラチナ ETFは現物に裏打ちされているため、その価値は、そのまま100%、インゴットに加工されている現物プラチナに相当する。このプラチナインゴットは投資信託を上場している取引所が承認し厳重に警備された保管庫に保管されており、プラチナの市場価格から諸経費（通常年間1%以下）を引いた上で、プラチナ ETFの唯一の資産となる。

個人投資家やアセットマネジャーは、このような投資資産を通じて、保険料や保管料を負担することなくして現物プラチナに投資できることになる。

**Contacts:****WPIC London**

Brendan Clifford, Investor Development, bclifford@platinuminvestment.com

Trevor Raymond, Research, traymond@platinuminvestment.com

David Wilson, Research, dwilson@platinuminvestment.com

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Sophia Zeng, Japan Market Development Manager, szeng@platinuminvestment.com

DISCLAIMER: The World Platinum Investment Council is not authorized by any regulatory authority to give investment advice. Nothing within this document is intended or should be construed as investment advice or offering to sell or advising to buy any securities or financial instruments and appropriate professional advice should always be sought before making any investment. Images are for illustrative purposes only. More detailed information is available on the WPIC website: <https://platinuminvestment.com/>